昭和二十一年六月一日　第三種郵便物認可
昭和二十二年七月二十九日　夕刊　いわき民報　（火曜日）　第三百七十八號　（一）

いわき民報

發行所　株式會社いわき民報社
平市田町四八電話一七六番
編輯兼發行人　千葉克郎
印刷人
日刊　但月曜を除く
定價一ケ月十円一部五十錢

知事と兩院に陳情

平第一校の復興工事促進目指し

三制の新制中學發足により生徒の收容に支障を來たし市では戰災直後これが復舊の一日も早からんことを念願、罹災校の復舊工事を施したが資材、セメント、木材、硝子、釘等の入手難で進捗せず殊に硝子の配給がないため昨年の如きは寒風のなかで勉學させたような次第で縣當局に配慮を願つているが、このまゝでは今冬をも迎へることになるまた第一小學校の建築も第一期工事を完了せず第二期工事を迎へて資材難に惱み拔いている現しようであり當局の緊急對策をのぞむ

縣下一のイモの供出

大小麥も極めて好成績を示す

と、麥では大麥三千九十三俵、小麥五百七十二俵で馬鈴薯は縣下のトップを切つて目標七萬六千貫の五十%にほゞ近い十六萬五千貫に達している、麥、馬鈴薯とも八月十日ごろまでには大半完了のもよう

賑つた七濱

人出ざつと五萬余

きのう二十七日の日曜日はいわき七濱の各海水浴場とも本夏に入つてからの最高記錄的人出で大賑ひ人出ざつと五六萬にも達した

四市の議長會議へ

平市からの提出議案決定さる

四市市會議長會議は二十八日午前十時から郡山市役所會議室に開かれたが、平市からは金古議長が松本副議長と新妻市書記を帶同して出席、入場稅の地方移讓方を關係筋へ要望の件と六、三制實施に伴う國庫補助要望の件、官設消防署設置等その他の件を提案した、提出議案左のとおり

▲入場稅の地方移讓方を關係筋へ要望の件（理由）現下の地方財政の窮狀に鑑み從來國稅として徵收し居る演劇、映畫、演藝其の他の諸興業に對する入場稅の移讓を受け窮乏せる市財政の緩和に資せんとするに由る

▲六、三制實施に伴う國庫補助要望の件…（理由）新憲法に於て「義務敎育はこれを無償とする」と規定されて居り且つ又地方財政は極度に疲弊し居る現況に鑑み新制中學實施に要する諸經費を全額國庫の補助に仰ぎ以て敎育の完璧を期せんとするのである

▲官設消防署設置方其の筋に要望の件…（理由）政府に於ては近く制定の消防法と共に官設消防署の增置を企劃中と聞き及んで居るを以て目下各市に於て實施中の常備消防部を官設消防署に昇格せしめ以て地方財政の緩和に資せんとするのである

▲第二封さ預金等の拂戻に關する件…（理由）昭和二十一年八月十一日付大藏省令第六百三十六號による金融緊急措置令施行規則第七條の二第一項第一號の規定により第二封さ預金等で納付された稅金は現下の急迫せる地方財政救濟の爲に之を拂戻して使用し得る樣法令の制定を其の筋に要望するものである

割一の米保有出供援救

市農實組長會議で

市の農事實行組合長會議は廿六日午後一時から公會堂日本間に午前の食糧調整委員會に續いて開催、既報の部落別麥、いも割當と農地改革の徹底について救援米運動を協議の結果

十月までの保有農家二百余戶は一丸となつて大衆にあたゝかい友愛の手をさしのべるため各自保有米のなかから一割を救援米としておくることに決定、一兩日中全農家に市民を救へとげきをとばすことになつた、供出期限は來月五日となつている

また郡では各自保有米のなかから一割を、一般農家から一握り以上の救援米をつのるべく準備をいそいでいる

男女中等制覇す

縣對抗庭球東北六

男子一般は惜敗

東北六縣府縣對抗軟式庭球大會は二十六日仙台で開かれたが、左の成績で男女中等學校は優勝したが、男子一般は無念準決勝に惜敗した

◆女子中等準決勝
福島4－3安積

◆同決勝
福島4－0山形

◆男子中等一回戰
福島4－3秋田

◆同二回戰
福島4－0安積

◆同決勝
福島4－1山形

◆男子一般一回戰
福島4－0岩手

◆同準決勝
安積4－1福島

十八娘の同性心中

無軌道戀愛三角關係からか

湯本町上關字年松さん（一八）と磐崎村原サトさん（一八）と磐崎村西郷鐵道員靜松さん二女高木シヅエさん（一八）は二十七日午前零時十五分ごろ磐崎村落合の踏切で常磐線上り二〇二、旅客列車に飛込み同性心中した原因は戀愛關係からとみられている

今曉も三俵

一〇二列車取締り

平署では二十六日午前零時三十二分の上り二〇一列車を急襲いつせい檢擧を行つて十件三俵の米を押收した

いわき寸言

◇うたての世や、米も食へぬ昨日今日、ものいうもわびしものいうもわびし

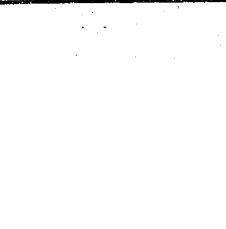
◇イモ汗流して働く大衆になお耐之の生活を望む御當人は？

◇農相又米をあげるという、鐵道もあげる肚でいると傳う、いまの世に下るものは人間價値のみか

◇いまの世の人の道とは飢へることゝ見出たり

孟蘭盆も近ずきました
先祖の尊いお姿を
肖像畫におすゝめ致します
服裝の自由永久絕對不變色
菊水肖像畫院
平市五丁目電九八九番

パーマネント
メイ化粧品部
優良化粧品小間物
下門山牛メイ



メイ美容室
永山ツルノ子
平市田町ベ

枠・桟附窓硝子（本物）販賣
○透明、曇リ、寸法ソノ他御希望ニ應ジ調製
○卸シ小賣共多少ニ拘ラズ御用命下サイ
○見本在社
平市田町五番地
平土地住宅有限會社
電平一〇一番・九二番

加配米完全配給を
——國鐵平地區から縣と食營に陳情

列車乘務員に

市の主食配給は十四日で七月になつて米の配給は四日分だけ、國鐵平地區の乘務員は二食分のべん當がいるが代用食では腐つてしまうので、べん當のため休むものが漸次增加し機關區乘務員四百名中

毎日の缺勤者は五十八人から六十人に達しおり、このような態では列車の運轉に支障を來すとあつて平地區從業員代表富山驛長及び國本機關區長等は二十六日付で縣及び食糧營團に對し、乘務員に加配米を完全配給するよう陳情した

鮮魚果實の計畫配給
——◇縣の食糧緊急對策成る◇——

縣では食糧緊急對策の一つとして最消費地たる四市への鮮魚介の出荷計畫これにともなう出荷がくほのための出荷實績に對する報奬物資ならびにその割合および四市に對し果實の計畫配給を行うことに決定それぞれ發表した

二、五倍上げの
鮮魚公定

盛澤山な報奬物資魚類の配給價格は業者との協議により現在の公定價では採算がとれないという業者の要望を入れて公定價の約二倍半と決定したが、八月分の鮮魚介の出荷計畫にもとづく市への出荷は

小名濱一萬九千貫、江名二千貫、四倉二千貫、久の濱二千貫、豐間五千貫、勿來二萬四千貫、▲計五萬四千貫

となつており鮮魚介出荷實績に對し細糸、シヤツ、ロープ作業衣、手ぬぐい等の盛澤山な報奬物資もおくられる

果實と野菜

琥安を報奬に特配

野菜および果實の配給は八、九の二か月間に果實十二萬貫野菜百萬貫を配給する計かくで月一人平均果實百六十七匁野菜一貫四百匁程度で配給は指定荷受機關の責任にて行い出荷農家に對しては報奬制を實施して萬全を期し大體野菜百五十貫につき琥安一貫匁、果物百貫につき琥安三貫匁とし優秀者にはさらに農藥をも特配する計かくであり、問題の値段については農家の民論調査によつて納得のゆく點で決

輸入食糧の
配給計畫

七月下半期分の輸入食糧配給計畫にもとづく郡下の營團別

安するが近く果實の値段は三倍程度の値上げを豫想されるのでこの計かく當はかくほできるもよう

ダンシング
ブツク
ダンスの常識—見てわかるダンスの本
ささき・ほんや
角忠書店
本通二丁目
電話二八五

市民のお台所
野菜恐慌

きようすきた取締り

平市ではこのあいだまで野菜のはんらんで市民が悲鳴をあげるほどだつたが、こんどは反對に市内の野菜不足は急に深刻化し市民のあひだには野菜を配給せよの叫びが上つてきた、こゝ二週間來八百屋の店先には平營の取締りがきいてか極度に姿を見せず一般家庭にお目見得するのは二日ないし三日に一回、それもごく少量という現狀で主食の遲配に加へ副食物の不足でいま市民の台所は恐慌を來たしてる

目標に達せぬ秋蠶掃立
來月八日片倉で對策協議會を開く

郡下における初秋蠶の掃立は去る十八日川前村がトップを切つて開始、澤渡、三阪、永戸、鎭鍋方部はいまが最盛で八月一日平營部をしんがりに完了するが初、晩秋の掃立申込數量は四萬グラムで目標四萬五千グラムにいまだ達していない、原因は桑の不足と煙草の增たん影響ようで地方事務所營蠶課では來月八日午前十時から片倉製糸工場に町村技術員と關係者の參集をもとめてこれが對策協議會をも開く

水泳教材の
体育講習

大浦の最勝院で

縣體協では來月七日から十日迄の四日間、大浦村上仁井田の最勝院に夏季學校體育講習

飢餓突破策に
早期供出懇請

市の食糧配給は今月に入つてから白米五日分、放出食糧十日分、あとは麥とじやがいもだが、八月に入つてからは殆んど麥とじやがいも依存によるほかなく市では飢餓突破策に近く早期供出こんせいすることになつた

品一時預り金融

平市才槌小路二二
石山方　**星**
電九〇

お百姓に——
觀覽券を二

お百姓さん

ご苦勞さまと市内の三常設館では二十七日伊東一氏に介し觀覽券百十九枚を食糧增產にはげむお百姓さんにおくつて下さいと市勤業課を通じ平窪の優良農家におくつた

磐中平工
長蛇逸す

中等野球縣下大會

全國中等野球縣代表選手大會に出場、見事第一回戰を勝ち拔いた磐中は第二回戰に白河中と又平工は會津工と討戰したがいづれも左のスコアで惜敗長蛇を逸した

白中A　1　5　4　磐中
磐　0000001　2　0　1　0
白　3000010001　A　5　A—4

會工　5　1　3　平工
會　0000040105
平　1000000200　3—

第三校同窓會
七夕音樂祭

來月二日母校に

平市第三小學校同窓會總會は八月二日午後五時から同校講堂で開く、會費は十円だが、余興に七夕まつりを行う、市内の平商、平女商、平工、ラエニックス、白樺、ひばりの各樂團、母校兒童唱歌隊、民樂劇場から漫樂團も特別出演することになつている

水禍頻々

小名濱町大字富岡保さん長男大牟徙ちやん（四）は二十五日午前十時半頃同字地內用水池附近で遊び中誤つて轉落溺死、また同町字島居進さん二女遠藤和枝ちやん（五）も同日午後一時頃同地內用水池附近で遊戲中溺死した

休電協力班と
内鄉の花賭博

内鄉町

日本電產勞組平分會の職場大會は二十八日午後一時から第三小學校講堂に開き休電協力班その他について協議した

小島字新町賭博前科一犯古物商佐藤大次郎（五五）ほか四名は二十七日午後七時半頃同町字新町鏡かけ職關口斧（五六）方で差十丹賭博を開張中平署佐々木熊谷兩刑事にふみ込まれ一網打盡に檢擧

會總會窓同校三第平

八月二日（土）午後五時
於　母校講堂　會費拾圓
興　七夕音樂まつり
（市內樂團總出演）
（母校兒童唱歌隊外）
會

◎會員券賣切れに付當日受付の便宜もお計ひ致します
◎卒業生以外の方は招待券の外入場をお斷り致します

好條件の投資
六分利勸業債券募集

第一七〇回勸業債券を左記好條件の下に發出します、財產保全の爲に又と得難い投資物として御推奬申上ます

二億円
年六分
額面百円ニ付百円
一年據置二年間ニ全額償還
昭和二十二年八月五日
昭和二十二年八月十五日
額面百円ニ付五十錢
年六分一厘九毛
◎申込者は御電話下されば早速御廻致します

日本勸業銀行平支店
電話三六八。九一三

賣出要項

一、發行給額
一、利率
一、發行價格
一、償還方法
一、申込期日
一、拂込期日
一、割戻金
一、勸業債券利廻

電灯電力工事請負
變壓器　モール取次
ラジオ　販賣修理
擴聲機　販賣修理
電機會具販賣修理

若松電機商會
若松久次郎
福島縣平市新川町二五
目標大町通サンベイ寫眞館向